

製品名		液化天然ガス (LNG)					国連番号		1092 (液体)										
化学名		液化天然ガス (LNG)					SAMPLE												
該当法法規対応・危険有害性																			
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法			道路法							
類 別						指定可燃物	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 ガ ス 圧 ス	液 化 石 ガ ス 油 ス	施行令 第19条 の12、13						
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類												●		●
特 性	危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性		性 状									
	禁水性	爆発性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性							
				常温	可燃時 火災時	水に 接触													
●	●	●				●				●									
<b>事故発生時の応急処置</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 車を安全な場所に移動する(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)三角停止板で後続車に知らせる。</li> <li>② 状況を確認し、消防署、警察署、及び会社(所属事業所)に通報する。</li> <li>③ 事故の発生を大声(メガホン)で告げ、人を風上に避難させる。</li> <li>④ 風上より携帯消火器にて初期消火を行う。困難な場合は、自ら速やかに避難する。</li> <li>⑤ 保護具(乾いた革手袋、保護面等)を着用し、漏れ止めを行う。</li> <li>⑥ 付近の着火源を取り除き、かつ、火花等による着火に注意する。</li> </ol>																			
<b>緊急通報</b> 119 (消防署) ・ 110 (警察署) ・ 高速道路の非常電話  [緊急通報例] 1. いつ            ○○時○○分頃 2. どこで        ○○市○○地区(国、県、市)道○○号線○○付近で 3. なにが        『高圧ガスの液化天然ガス(LNG)』が 4. どうした      漏れています。/漏れて火災になっています。 5. ケガ人は      ケガ人がいます。(救急車をお願いします)/ケガ人はいません。 6. 私の名前は   ○○運送会社 ○○です。																			
<b>緊急連絡</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">荷送会社</td> <td style="width: 50%;">運送会社</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td>住所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電話</td> <td>平日・昼間</td> </tr> <tr> <td>休日・夜間</td> </tr> </table>													荷送会社	運送会社	住所	住所	電話	平日・昼間	休日・夜間
荷送会社	運送会社																		
住所	住所																		
電話	平日・昼間																		
	休日・夜間																		

製品名	液化天然ガス (LNG)	国連番号	1092 (液体)
化学名	液化天然ガス (LNG)	SAMPLE	

## 災害拡大防止措置

### <漏洩・飛散したとき>

- ① 漏れ量が多い時は、約150mの範囲で、人の立ち入り禁止、火気使用禁止及び風上への避難等を要請する。
- ② 液化天然ガスは気化すると約600倍の体積となるのでトンネル内などでは窒息に注意する。
- ③ バルブ、継手類及び配管より漏洩した場合、風上でかつ吹き出し方向の反対側より接近し、上流側のバルブを閉め、防災工具を用いて継ぎ手の増締め等漏洩防止作業を行う。ただし安全弁の元弁は決してしめてはいけない。
- ④ 配管、継ぎ手、バルブ等から液で少量もれている場合は、その周囲に水をふくませた吸水マット等を漏洩部を中心に巻き付ける。液化天然ガスの冷熱でマットが凍り付いて漏れも止まる。
- ⑤ 地面上を液が流れるときは、水を含ませた吸水マット、土などで排水溝、開口部を囲み、液の流入防止処置を講じる。(溝に液が流入すると思わぬところで引火・爆発のおそれがある。)
- ⑥ 作業の際は、厚手のゴム手袋、保護面等の保護具を着用し、風上から作業する。

### <周辺火災のとき>

- ① ローリーをすみやかに安全な場所に移動する。
- ② 移動不可能な場合は、圧力上昇防止のためタンクを冷却散水する。

### <引火・発火したとき>

- ① 可能であれば漏洩を止める。
- ② 消火する場合は、粉末、炭酸ガスを用いて消火する。LNG (液) への注水は厳禁。
- ③ 漏洩が止められな場合は、火災を消さないで周辺設備の冷却散水に努める。

### <救急措置>

- ① 吸入した(酸素欠乏症)場合は、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。呼吸が止まっている場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。呼吸が困難な場合は酸素吸入を施し、いずれの場合も、できるだけ早く医師の手当を受ける。
- ② 凍傷の場合は、凍傷部分をこすってはいけない。凍傷部分の衣服を脱がせる。衣服が凍り付いて取れない時は、無理にとらないでその他の部分を切り取る。患部を微温湯で徐々に暖め、ガーゼ等で保護して医師の手当てを受ける。
- ③ 火傷の場合は、患部を冷やし、できるだけ早く医師の手当てを受ける。
- ④ 目に入った場合は、清浄な流水で15分以上洗眼した後、眼科医の手当を受ける。

### 特記事項

- ① 保護具：乾いた革手袋、導電性安全靴、保護面、ゴーグル等漏れ止め作業に水を使うときは、厚手のゴム手袋を用いる。
- ② 危険性：液化天然ガスが漏れると低温のため空気中の水分が冷えて白霧化する。この中に入ると危険。  
比較的小さなエネルギーの静電気火花でも着火する。
- ③ 有害性：酸素欠乏の危険性が有る。皮膚に触れるとしもやけ、凍傷を起こす。  
LNG自体は、毒性は殆ど無い。無色・無臭。
- ④ 高圧ガス：メタンを主成分とする無色透明の液体。液体の温度は $-160^{\circ}\text{C}$   
液密度：0.46 ( $-160^{\circ}\text{C}$ の時) ガス比重：0.56 (対空気比、常温)  
空気中の爆発範囲：5～15%